



新国立劇場

新国立劇場 2024/2025 シーズンオペラ

ビゼー

カルメン

Carmen / Georges Bizet

2025年2月26日(水)～3月8日(土)

会場:新国立劇場オペラパレス 2025年1月5日(日) 10:00～ 前売開始

文化庁劇場・音楽堂等における子供舞台芸術鑑賞体験支援事業



『カルメン』2021年公演より

自由に恋し、情熱に生きる！ 衝撃の“TOKYO カルメン”再び

人気オペラの筆頭に挙がる人気作中の人気作『カルメン』。フランス・ロマン派らしい魅惑的な響きとスペイン情緒あふれる情熱的な音楽が観る者を虜にします。新国立劇場のアレックス・オリエ版『カルメン』は、バルセロナ・オリンピックの伝説的演出でも名高い演出家オリエらしいスペクタクル性と、観客を唸らせる斬新な解釈が詰まった“TOKYO カルメン”。夭折したイギリスのシンガー、エイミー・ワインハウス風のポップ・スターになったカルメンの恋と葛藤がクールに描かれます。現代的で知的、勇気と誇りを持って自由に生きるカルメンと、独占欲が強く盲目的で、拒絶を受け入れられない男ホセの恋物語、そして今日どこにでも起こり得る破滅的な悲劇は、特に若い世代の共感を呼び大反響を巻き起こしました。

世界が注目するハンキー、アヤン、ゴリンスキーが新国立劇場初登場！

注目のカルメン役には、強さと柔らかさを併せ持つ美声とドラマティックな表現力でスター街道を駆け上るサマンサ・ハンキーが登場。ドン・ホセ役に登場する、欧米で急成長中のブラジル人テノール、アタラ・アヤンも見逃せません。エスカミーリヨには“エスカミーリヨ歌い”、“ロジェ王歌い”として活躍するルーカス・ゴリンスキーが出演します。指揮は22年『さまよえるオランダ人』『愛の妙薬』に急遽登場、ワーグナー、ベルカントそれぞれの美点を捉えた演奏が絶賛されたガエタノ・デスピノーサです。

<資料のご請求、ご取材のお問い合わせ>

新国立劇場 制作部オペラ 広報担当:高梨木綿子

Tel:03-5352-5733/Fax:03-5352-5709/E-Mail: takanashi_y1307@nntt.jac.go.jp

自由と勇気の象徴カルメン。鬼才アレックス・オリエが描く現代に通じる女の運命

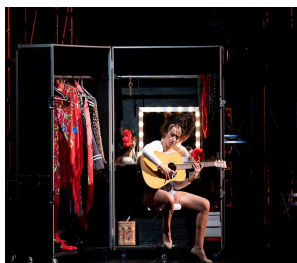
世界中で人気オペラの筆頭に挙がる人気作中の人気作。活気あふれる前奏曲、カルメンの登場で歌われる「ハバナラ」、ホセを誘惑する「セギディーリャ」、スペイン情緒みなぎるスペクタクルな「ジプシーの歌」、華やかな「闘牛士の歌」などなど、誰もおなじみの名曲にのせ、自由奔放な女カルメンと一途な男ドン・ホセの愛と死の運命のドラマが繰り広げられます。ビゼーの音楽にはフランス・ロマン派の魅惑的な響きと、スペインの民族色豊かな情熱的な音楽が融合し、観客を熱狂させます。

新国立劇場で2021年に新制作したアレックス・オリエ版『カルメン』は、鬼才オリエらしいスペクタクル性と、観客を唸らせる斬新な解釈が詰ま

った“TOKYOカルメン”。オリエの音楽的感性、大胆な発想と求心力、そしてダイナミックな空間演出が凝縮されたステージです。カルメンはイギリスの伝説のシンガー、エイミー・ワインハウス風のポップ・スターで、知的で勇気と反骨心を持って自由に生きる女性カルメンと、独占欲が強く嫉妬深く、拒絶を受け入れられない男ホセの恋とすれ違いが、今日どこにでも起こり得る悲劇として描かれます。オリエのセンスが光る、カルメンをはじめとした人物たちのファッションにも注目です。



『カルメン』2021年公演より



『カルメン』2021年公演より

21年の初演では、『カルメン』をマチズモ文学と捉えるオリエが描いた、19世紀的なファム・ファタールとは異なるカルメン像が特に若い世代の女性の共感を呼び、「オリエ版カルメンはたくましく、チャーミング」「自分の運命は自分で決める強さや勇気も持っている」「カルメンにとっては恋愛も自由を求める意志の発露」とメディアでも反響も呼びました。なお、初演の際は新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じた演出でしたが、今回の上演では制約を外した演出に練り直して上演します。さらにエネルギー溢るステージングにご期待ください。

ハンキー×アヤン×ゴリンスキー、注目株の歌手が繰り広げる運命のドラマ



サマンサ・ハンキー

アタラ・アヤン

ルーカス・ゴリンスキー

注目のカルメン役には、「催眠術のような魅力」(NYタイムズ紙)と絶賛され、強さと柔らかさを併せ持つ美声とドラマティックな表現力でスター街道を駆け上るサマンサ・ハンキーが登場。ドン・ホセ役は、メトロポリタン歌劇場、ザクセン州立歌劇場など欧米で急成長中のブラジル人テノール、アタラ・アヤンです。

エスカミーリヨには“エスカミーリヨ歌い”、“ロジェ王歌い”として活躍するポーランドのバリトン、ルーカス・ゴリンスキーが出演します。

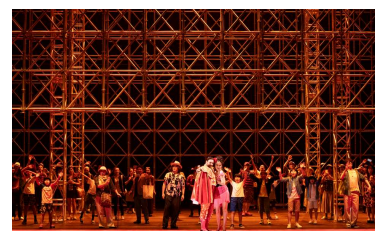
ミカエラ役には新世代のプリマドンナとして大躍進中の伊藤 晴が出演。森口賢二、成田博之、糸賀修平、田中大揮らの実力派と共に、二期会公演を中心に称賛を集めるソプラノ富平安希子の新国立劇場デビュー、新国立劇場オペラ研修所出身で、確かな実力が評価されるメゾソプラノ十合翔子と、フレッシュな歌手陣にも注目。指揮は22年『さまよえるオランダ人』『愛の妙薬』に急遽登場、ワーグナー、ベルカントそれぞれの美点を捉えた演奏が絶賛されたガエタノ・デスピノーサの嬉しい再登場です。



左上より G.デスピノーサ、A.オリエ、S.ハンキー、A.アヤン、L.ゴリンスキー、伊藤晴

<あらすじ>

セビリアの煙草工場で働く美女カルメンは伍長のドン・ホセに興味を抱き、誘惑する。彼にはミカエラという許嫁がいたが、カルメンの魅力と誘惑に負け、軍隊を脱走しロマの密輸団の一員となる。カルメンのホセへの愛は続かず、花形闘牛士エスカミーリヨに心変わりするなか、ホセは危篤の母親のもとに駆け付けるため密輸団を離れる。闘牛の日、ホセは再びカルメンの前に現れ、復縁を迫るがきっぱりと拒絶される。逆上したホセは短剣を手に取りカルメンに迫る。





文化庁劇場・音楽堂等における子供舞台芸術鑑賞体験支援事業により、『カルメン』に18歳以下200名様をご招待します。また、同伴される保護者等につきましては半額でS席をお買い求めいただけます(先着順・席数に上限あり)。この機会にぜひ、ビゼーの傑作『カルメン』をオペラの殿堂・新国立劇場オペラパレスでお楽しみください。

【対象公演日】2025年2月26日(水)18:30、3月1日(土)14:00、4日(火)14:00、6日(木)14:00 *ご招待人数:計200名様

【一次募集 受付期間】2025年1月5日(日)~1月12日(日)

【二次募集 受付期間】2025年1月18日(土)~2月2日(日) ※一次募集の申込み状況によって、二次募集を行わない場合があります。

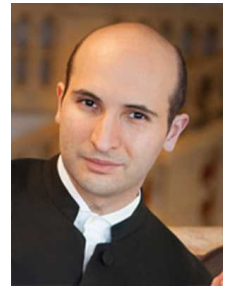
詳細はこちら https://www.nntt.jac.go.jp/release/detail/23_028071.html

<主要キャスト・スタッフプロフィール>

【指揮】ガエタノ・デスピノーサ

Gaetano D'ESPINOSA

イタリア・パレルモで生まれ、ピアノ、ヴァイオリン、作曲を学ぶ。1992年ヴィットリオ・ヴェネト、96年ロヴェレ・ドーロ国際音楽コンクールで最高位を獲得し、ヴァイオリニストとしてキャリアをスタート。2003年から08年までザクセン州立歌劇場コンサートマスターを務める。ファビオ・ルイーゼと出会い08年以降指揮者としての活動に専念、クレメラータ・バルティカ、プラハ・フィルハーモニア管弦楽団などに客演。フェニーチェ歌劇場管弦楽団、フィレンツェ五月祭管弦楽団、サンタ・チェチーリア国立アカデミー管弦楽団、トリノRAI交響楽団などに一気にデビューを飾る。オペラでは10年ザクセン州立歌劇場『椿姫』、翌年ジェノヴァ・カルロ・フェリーチェ歌劇場『道化師』を指揮し成功を収め、リヨン歌劇場、グラーツ歌劇場、フェニーチェ歌劇場、ローマ歌劇場、ザクセン州立歌劇場などに登場。最近ではザクセン州立歌劇場で『魔笛』『愛の妙薬』等を指揮。13年~17年、ミラノ・ヴェルディ交響楽団首席客演指揮者。NHK交響楽団などに招かれ度々来日しており、16年あいちトリエンナーレ『魔笛』、17年二期会『蝶々夫人』を指揮している。新国立劇場では22年『さまよえるオランダ人』『愛の妙薬』を指揮している。



【演出】アレックス・オリエ

Àlex OLLÉ

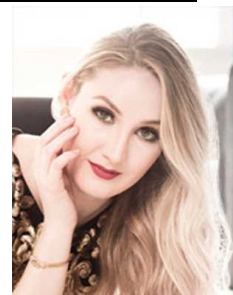
バルセロナ生まれ。パフォーマンス集団ラ・フーラ・デルス・ハウスの6人の芸術監督の一人で、同カンパニーは世界的な評価を確立した。カルルス・パドリッサと共同演出したバルセロナ・オリンピック開会式をはじめとする大規模イベントや、演劇、映画と多くの分野で活動している。近年ではオペラの演出で特に活躍し、ザルツブルク音楽祭、ウィーン芸術週間、マドリッド・テアトロ・レアル、リセウ大劇場、パリ・オペラ座、モネ劇場、英国ロイヤルオペラ、イングリッシュ・ナショナル・オペラ、ザクセン州立歌劇場、ルールトリエンナーレ、ネザーランド・オペラ、ミラノ・スカラ座、ローマ歌劇場、オーストラリア・オペラなど世界中で活躍、『魔笛』『ノルマ』『仮面舞踏会』『イル・トロヴァトーレ』『ファウストの劫罰』『トリスタンとイゾルデ』『さまよえるオランダ人』『ペレアスとメリザンド』『ラ・ボエーム』『蝶々夫人』『青ひげ公の城』『消えた男の日記』『マハゴニー市の興亡』『火刑台上のジャンヌ・ダルク』など幅広い作品を手掛けている。新国立劇場では2019年オペラ夏の祭典『トウランドット』(東京文化会館共同制作)、21年『カルメン』を演出している。



【カルメン】サマンサ・ハンキー(メゾソプラノ)

Samantha HANKEY

ジュリアード音楽院で学士号と修士号を取得した後、グラインドボーン・カップやオペラリア・コンクール、メトロポリタン歌劇場ナショナル・カウンシル・オーディションなどに数多く入賞。2019年~21年にはバイエルン州立歌劇場と契約し、数多くの役に出演するとともに、チューリヒ歌劇場、ノルウェー国立オペラ、ジュネーヴ大劇場、ダラス・オペラなどにデビュー。その後、スコティッシュ・オペラ『アイナダマール』フェデリコ・ガルシア・ロルカ、シカゴ・リリック・オペラ『ヘンゼルとグレーテル』ヘンゼル、サンタフェ・オペラ『ペレアスとメリザンド』メリザンド、メトロポリタン歌劇場『ばらの騎士』オクタヴィアンに出演。23/24シーズンは、英国ロイヤルオペラ、チューリヒ歌劇場『コジ・ファン・トゥッテ』ドラベツラ、ザクセン州立歌劇場『フィガロの結婚』ケルビーノ、デトロイト・オペラ『利口な女狐の物語』男狐、メトロポリタン歌劇場『ロメオとジュリエット』ステファノなどに出演。24/25シーズンはバイエルン州立歌劇場『ばらの騎士』オクタヴィアン、『ドン・ジョヴァンニ』ドンナ・エルヴィーラなどに出演予定。新国立劇場初登場。



【ドン・ホセ】アタラ・アヤン(テノール)**Atalla AYAN**

ブラジル出身の注目のテノール。2007年、母国ベレンの平和劇場『ジャンニ・スキッキ』リヌッチョでデビュー。翌年ギリシャ国立歌劇場『ラ・ボエーム』ロドルフォに出演。ポローニャ歌劇場イタリア・オペラ研修所、メトロポリタン歌劇場リンデマン・ヤング・アーティストプログラムを経て、シュトゥットガルト州立歌劇場専属歌手となり多くの役に出演。11年にはオープニング・ガラコンサートに急遽出演しメトロポリタン歌劇場デビューを果たす。『ラ・ボエーム』ロドルフォでパリ・オペラ座、コロソポル歌劇場、オランダ国立オペラ、カナディアン・オペラ・カンパニー、スウェーデン王立歌劇場などにデビュー。同役は英国ロイヤルオペラ、ベルリン・ドイツ・オペラ、ザクセン州立歌劇場、バイエルン州立歌劇場などでも出演。『椿姫』アルフレードは、ジェノヴァ・カルロ・フェリーチェ劇場、メトロポリタン歌劇場、サンフランシスコ・オペラ、ノルウェー国立オペラなどで出演。ミラノ・スカラ座、バイエルン州立歌劇場『愛の妙薬』ネモリーノ、オーストラリア・オペラ『リゴレット』マントヴァ公爵、パリ・オペラ座『マノン』デ・グリユーなどにも出演している。23/24シーズンはシュトゥットガルト州立歌劇場で『トスカ』カヴァラドッシ、『カルメン』ドン・ホセ、『イル・トロヴァトーレ』マンリーコに、リトアニア国立歌劇場『マノン』デ・グリユー出演した。新国立劇場初登場。

**【エスカミーリョ】ルーカス・ゴリンスキー(バス・バリトン)****Lukasz GOLINSKI**

ポーランド出身。ポーランド国立歌劇場に出演を重ねるほか、近年では、英国ロイヤルオペラ『サムソンとデリラ』ダゴンの大祭司、『ラ・ボエーム』マルチェッロ、スウェーデン王立歌劇場『サロメ』ヨハナーン、リセウ大劇場『スベードの女王』トムスキー伯爵、サヴォンリンナ音楽祭、プラハ国民劇場『椿姫』ジェルモン、ザルツブルク音楽祭『ボリス・ゴドゥノフ』ピーメン、フランクフルト歌劇場、スウェーデン王立歌劇場『トスカ』スカルピア、ザルツブルク音楽祭『ギリシャ受難劇』フォティス、ハンブルク州立歌劇場、フランクフルト歌劇場、プラハ国民劇場『カルメン』エスカミーリョなどに出演。『ロジェ王』タイトルロールではサンタ・チェチーリア管、フランクフルト歌劇場、ポーランド国立歌劇場、プラハ国民劇場に招かれ「完璧なロジェ王」と絶賛される。エクサン・プロヴァンス音楽祭、ポーランド国立歌劇場『炎の天使』では大野和士と共演した。2023/24シーズンは英国ロイヤルオペラ『エレクトラ』オレスト、ハンブルク州立歌劇場『椿姫』ジェルモン、シュトゥットガルト州立歌劇場、チューリヒ歌劇場、グラインドボーン音楽祭『カルメン』エスカミーリョ、ポーランド国立歌劇場『蝶々夫人』シャープレス、『椿姫』ジェルモンに出演。24/25シーズンはプラハ国立歌劇場、ベルリン州立歌劇場、英国ロイヤルオペラ『カルメン』エスカミーリョなどに出演する。新国立劇場初登場。

**【ミカエラ】伊藤 晴(ソプラノ)****ITO Hare**

三重大学卒業、武蔵野音楽大学大学院修了。日本オペラ振興会オペラ歌手育成部第25期生修了。ミラノ、パリで研鑽を積み、2013年パリ地方音楽院修了。第9回藤沢オペラコンクール第2位。小澤征爾音楽塾子どものためのオペラ『子どもと魔法』『ジャンニ・スキッキ』などに出演し、いずれも高い評価を得ている。藤原歌劇団には『ラ・ボエーム』ムゼッタでデビューし、『カルメン』『ラ・トラヴィアータ』『愛の妙薬』『ラ・ボエーム』を東京・愛知公演で熱演、藤原歌劇団・NISSAY OPERA 2021公演『蝶々夫人』ではタイトルロールを務め、その後同役は青森・宮城・群馬公演でも絶賛を浴びた。また日本オペラ協会には『天守物語』亀姫でデビューし、『夕鶴』つうも見事に演じた。新国立劇場では『修道女アンジェリカ』オスミーナ、『こうもり』イーダに出演、24/25シーズン開幕公演『夢遊病の女』ではリーザに出演した。今シーズンは新国立劇場『夢遊病の女』に続き、藤原歌劇団・NISSAY OPERA『ピア・デ・トロメイ』ピア、中部フィルハーモニー『椿姫』(ハイライト)ヴィオレッタ、藤原歌劇団(三重県文化会館公演)『蝶々夫人』タイトルロールと重要な出演が続く。藤原歌劇団団員。日本オペラ協会会員。愛知県立芸術大学、武蔵野音楽大学各講師。



新国立劇場 2024/2025 シーズン オペラ
ジョルジュ・ビゼー
カルメン
全3幕〈フランス語上演／日本語及び英語字幕付〉
Carmen / Georges Bizet

【公演日程】 2025年2月26日(水)18:30/3月1日(土)14:00/4日(火)14:00/6日(木)14:00/8日(土)14:00

【会場】新国立劇場 オペラパレス

【チケット料金】 S:29,700円・A:24,200円・B:17,600円・C:11,000円・D:7,700円・Z:1,650円

【前売開始】 2025年1月5日(日) 10:00～

※予定上演時間 約3時間20分(休憩含む)

指揮	ガエタノ・デスピノーサ	カルメン	サマンサ・ハンキー
Conductor	Gaetano D'ESPINOSA	Carmen	Samantha HANKEY
演出	アレックス・オリエ	ドン・ホセ	アタラ・アヤン
Production	Àlex OLLÉ	Don José	Atalla AYAN
美術	アルフォンス・フローレス	エスカミーリョ	ルーカス・ゴリンスキー
Set Design	Alfons FLORES	Escamillo	Lukasz GOLINSKI
衣裳	リュック・カステイス	ミカエラ	伊藤 晴
Costume Design	Lluc CASTELLS	Micaëla	ITO Hare
照明	マルコ・フィリベック	スニガ	田中大揮
Lighting Design	Marco FILIBECK	Zuniga	TANAKA Taiki
		モラレス	森口賢二
		Moralès	MORIGUCHI Kenji
		ダンカイロ	成田博之
		Le Dancaire	NARITA Hiroyuki
		レメンダード	糸賀修平
		Le Remendado	ITOGA Shuhei
		フラスキータ	富平安希子
		Frasquita	TOMIHIRA Akiko
		メルセデス	十合翔子
		Mercédès	SOGO Shoko

合唱指揮	三澤洋史
Chorus Master	MISAWA Hirofumi
合唱	新国立劇場合唱団
Chorus	New National Theatre Chorus
児童合唱	TOKYO FM 少年合唱団
Children Chorus	TOKYO FM Boys Choir
管弦楽	東京交響楽団
Orchestra	Tokyo Symphony Orchestra

芸術監督	大野和士
Artistic Director	ONO Kazushi

公演情報 WEB サイト <https://www.nntt.jac.go.jp/opera/carmen/>

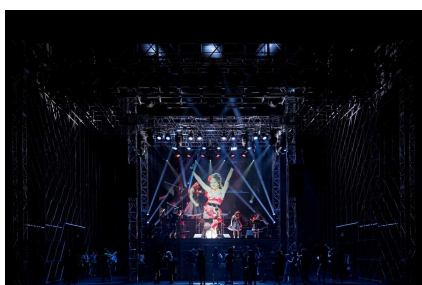
【チケットのご予約・お問い合わせ】 新国立劇場ボックスオフィス TEL:03-5352-9999 (10:00～18:00)
新国立劇場Webボックスオフィス <http://nntt.pia.jp/>

【チケット取り扱い】チケットぴあ、イープラス、ローソンチケットほか

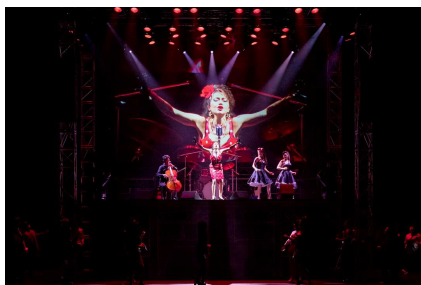
* Z席 1,650円:公演当日朝10時より、新国立劇場 Web ボックスオフィスほかで販売。1人1枚。電話予約不可。

* 当日学生割引(50%)、ジュニア割引(20%)、高齢者割引、障害者割引、学生割引など各種割引あり。* 未就学児入場不可。

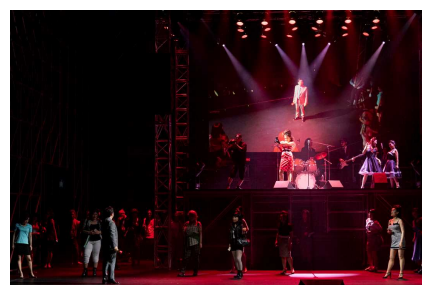
本公演はレパトリー作品です。過去の上演の舞台写真を宣材としてご提供致します。



【1】



【2】



【3】



【4】



【5】



【6】



【7】



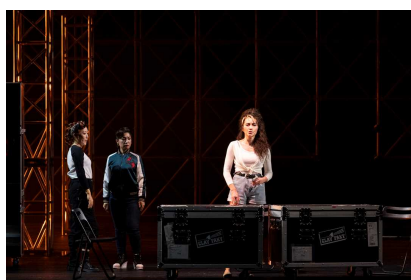
【8】



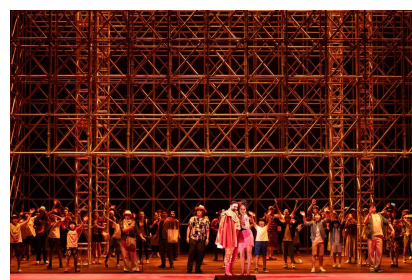
【9】



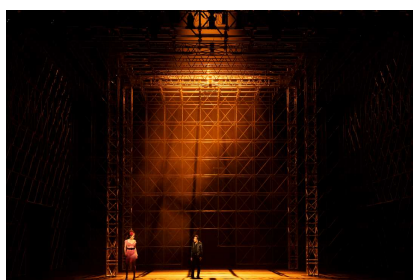
【10】



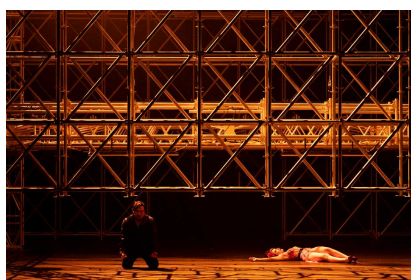
【11】



【12】



【13】



【14】

新国立劇場『カルメン』2021年公演より 撮影：堀田力丸